



年頭所感

Tsuyama 2016

津山市長 宮地 昭 範



新年明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。
本年4月には、「津山開花宣言」と銘打った津山市第5次総合計画がスタートします。「開花」という言葉には、草木の花が咲くことのほか、「物事が盛んになる」「努力が成果となって現れる」という意味もあります。今後10年間のまちづくりの方向性や取り組みを通して、市民一人ひとりが自らの知識や経験、能力を生かしながら、夢と希望を持って暮らせるまちを創っていきたいと考えています。
また、地方創生の時代を生き残っていくために、シティプロモーションにも本格的に力を入れていきます。移住・定住人口や交流人口の増加、そして地産外高^{*}の促進には、津山市の知名度アップが不可欠です。平成27年11月に発表した市のロゴマークの活用と合わせ、今年都市圏での広告展開などにより、積極的な売り込みに力を注いでいきます。
年始にあたり、より未来に、より全国に視野を広げながら「まちの開花」に向けた新たな取り組みに挑戦していく所存ですので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。
本年も皆様にとりまして、幸多き一年でありますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

^{*}地域で生産した物産をその土地で消費する「地産地消」に対し、地域を飛び越え、都市圏や海外で物産が消費され、地域外からお金を取り入れること

津山市議会議員 木下 健二



新年明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。
また、日頃より、津山市議会の運営に対しまして、ご理解とご協力をいただいておりますことに対し、厚く御礼申し上げます。
さて、少子高齢化の進行や都市部への人口流出による人口減少が急速に進行する中、今まさに地方行政の力量と真価が問われる時代を迎えています。
こうした中、本市におきましては、平成27年度、国の地方創生の方針に対応していくため「津山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、あらゆる施策を講じて人口減少・少子高齢化に歯止めをかけ「住み続けたい・住んでみたい・誇りに思えるまち」を実現するため、事業展開を推進しているところです。また「津山市第5次総合計画」が、彩りあふれる花開く津山の創造を基本理念に、5つの開花プログラムにより平成28年度からスタートしようとしています。
市議会といたしましても、人口構造を維持し、まちに活力を創出するとともに、住みやすさを追求し、誇りに思えるまちを目指して、市民の皆様からの貴重なご意見をいただきながら、その役割と責任の重さを自覚し、市民の負託に応えるため、決意も新たに本年も全力を尽くしたいと考えています。
新しい年が実り多き年でありますとともに、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



新春座談会

「外国出身の皆さんから見た津山」

人口減少や高齢化の進行により、各地域が地方創生に取り組み中、住民の生活の維持や交流人口の増加などによる地域活性化が重要な課題となっており、そこへ、市内から世界までの人びとを引き付ける魅力あるまちづくりが必要です。

今回は、市内に在住している外国出身の皆さんにお集まりいただき、津山の印象やこれからの津山の在り方についてお聞きしました。

図秘書広報室 ☎ 32・2029

出席者プロフィール

名前：トーマス・ブーさん(東一宮)
年齢：23歳
国籍：アメリカ合衆国
職業：県立津山高等学校と県立津山東高等学校の英語講師(外国語指導助手)
津山市在住年数：約1年

名前：嶋津蓉子さん(川崎)
年齢：40歳
国籍：中華人民共和国
職業：市内の学校の食堂に勤務
津山市在住年数：約5年

名前：北野フィニさん(田町)
年齢：39歳
国籍：インドネシア共和国
職業：市内の飲食店に勤務
津山市在住年数：約10年

